

## 野菜



## 野菜類防除基準



野菜

寺田 到

上島営農指導センター  
090-6897-7996

※適用作物名が『野菜類』となっており、家庭菜園にも比較的使いやすい薬剤です。春先から虫、病気の発生が多くなりますので注意下さい。

### 病虫害防除

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害		灰色かび病		立枯病		黒斑病、斑点細菌病		立枯病		灰色かび病		
虫害						アブラムシ・ハダニ						
						アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、オオタバコガ						
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害	灰色かび病	ポトキラー水和剤 1000倍		使用回数制限なし		発病前						
	斑点細菌病 黒斑病 軟腐病	コサイドボルドー 1000倍		使用制限なし		Zボルドー 500倍		使用制限なし				
	うどんこ病	カリグリーン 800～1000倍		回数制限なし		収穫前日まで		(トマト・ミニトマトは除く)				
	さび病	ハーモメイト水溶剤 800～1000倍		使用制限なし		収穫前日まで		硫黄粉剤 50:3kg/10a				
虫害	アブラムシ	サンクリスタル乳剤 300倍		収穫前日まで		(なす・トマト・ミニトマトは除く)						
	ハダニ	アカリタッチ乳剤 1000～3000倍		使用制限なし		収穫前日まで						
	アオムシ	デルフィン顆粒水和剤 1000倍		使用制限なし		収穫前日まで		発生初期				
	コナガ	ゼンターリ顆粒水和剤 1000～2000倍		使用制限なし		収穫前日まで		発生初期				
	ヨトウムシ	トアローフロアブルCT 1000～2000倍		使用制限なし		収穫前日まで		発生初期				
オオタバコガ	※上記の剤は同一種類剤(BT剤)のため、散布回数は、総計で4回まで											

### 病害防除

- 降雨の後に防除
- チツクが効いて軟弱な場合には注意
- 温度が下がってきたら、べと病の防除
- 乾燥してきたらうどん粉病の防除
- 雨が多い場合は細菌病、カビ病ともに予防剤散布
- 風が良く当たるところでは細菌病が多い(防風ネット利用)

温度条件

降雨・湿度条件

生育状況

生育環境の観察+防除

### 虫害防除

- 強い風が吹いたら、虫が増える
- 乾燥したらダニが増える
- 雨が多いと、全般的に虫は少ない
- 虫が見えたら防除。7日～14日後に卵や蛹が成虫になるのでまた防除。

※防除薬剤は「薬剤の種類」、「希釈倍数」、「散布液量」、「散布回数」に注意し、基準を厳守する。

やや高温・乾燥・風で多発、降雨で減少

水稻



農作業メモ



水稻

吉田 義文  
指導販売課  
0969-22-1105

○田植え

①水田除草剤の適正使用

農薬は、あらかじめ品質・効果・残留性などが、基準によりチェックされ、問題がないと判断された薬剤が農林水産大臣の登録を受け、販売・流通しています。

水田除草剤として製品に貼付されているラベルには効果や薬害、残留性等から設定された使用基準や使用上の注意事項が記載されています。その内容を遵守して使用してください。薬剤の特長や散布方法を把握し効率よく利用し、特に散布時や散布後数日間（7日程度）の水管理には十分注意を払う必要があります。湛水状態を保つことは、安定した除草効果が得られるばかりでなく水田水系外への除草剤成分の流出を防止するためにも重要となります。

散布した除草剤の有効成分は水田土壌の表層に吸着されて除草効果を発揮します。安定した効果を得るためには、この処理層を壊さない水管理が大切です。落水や漏出を防ぎ、掛け流しを行わないようにしましょう。

また、水が少なくなり田面が露出するとその部分の除草効果が低下しますので減少分をその都度補充してください。

尚、今年産より除草剤はボディガード(粒)へ変更しています。併せて、1度目の散布で効果が出ない場合のみアトリ(粒)の利用をお願いします。

②有効茎数の確保と中干し

除草期間が終了したら有効茎数を確保するために暖かい日中は浅水管理で分けつの促進に努めてください。1株の茎数が18本程度確保できたら中干しを行ってください。(平年では5月20日頃より)水管理を容易にするために、中干し前の土が軟らかい時に「溝切り」を行いましょう。

③中間施肥 病害虫防除

中干し前に、茎を丈夫にするために珪酸加里を10㎡に20kg程度を施用してください。

補植苗は病害虫の発生要因となりますので、早めに取り除きましょう。また、畦畔の除草による耕種的防除に努めましよう。



果樹



4月の柑橘園管理



果樹

原口 悠貴  
下島営農指導センター  
080-2725-7775

1. 河内晩柑の収穫とその後の管理

通気の良い冷暗所で予措を行い、ポリ個装を実施ましよう。また、今後は気温の上昇に伴い庫内の温度も上昇ましようので、朝夕の換気に努め貯蔵管理を行いましよう。

品 種	区 分	収穫時期	予措期間
河内晩柑	後期採取	4/ 1～4/30	7日程度(2%)

2. 病害虫防除

暖冬の影響により、例年よりも生育がやや早まっている様です。防除等管理が遅れないようにましよう。

項目	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	散布時期	備考
温州みかん	そうか病	フロンサイドSC	2,000倍	上旬	発芽3mm時
中晩柑	かいよう病	コサイド3000 加用 クレフノン	2,000倍 200倍	開花前	かいよう病の発生が心配される園
全品種	訪花害虫	モスピランS L 液剤	4,000倍	開花期	

3. 施 肥

○通常タイプ

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
全品種	硫マグエース	4月上旬	2袋
早生・中熟・普通温州	熊本果樹肥料 10-7-4 又は ひのくに果樹 9-3-3	4月上旬	5袋
デコボン	熊本デコボン 8-3-3	4月上旬	3袋

※着花が多すぎる場合は、花肥えとしてハイヤ1号を1袋/10a施用ましよう(初蕾期)

4. 葉面散布

樹勢が落ちている場合、貯蔵養分の不足が考えられますので、発芽～新梢伸長期はチッ素系の葉面散布を行いましよう。また、緑化が遅れそうな場合は、マグネシウムの葉面散布を行いましよう。

目 的	資材名	希釈倍数	備 考
樹勢回復・樹勢維持	尿 素	500倍	いずれかを 使用下さい
	アミノジューシーN 14		
緑化促進	神協スピリッツ	200倍	
	葉面マグ		